

## 『秋のお店屋さんごっこ』活動案

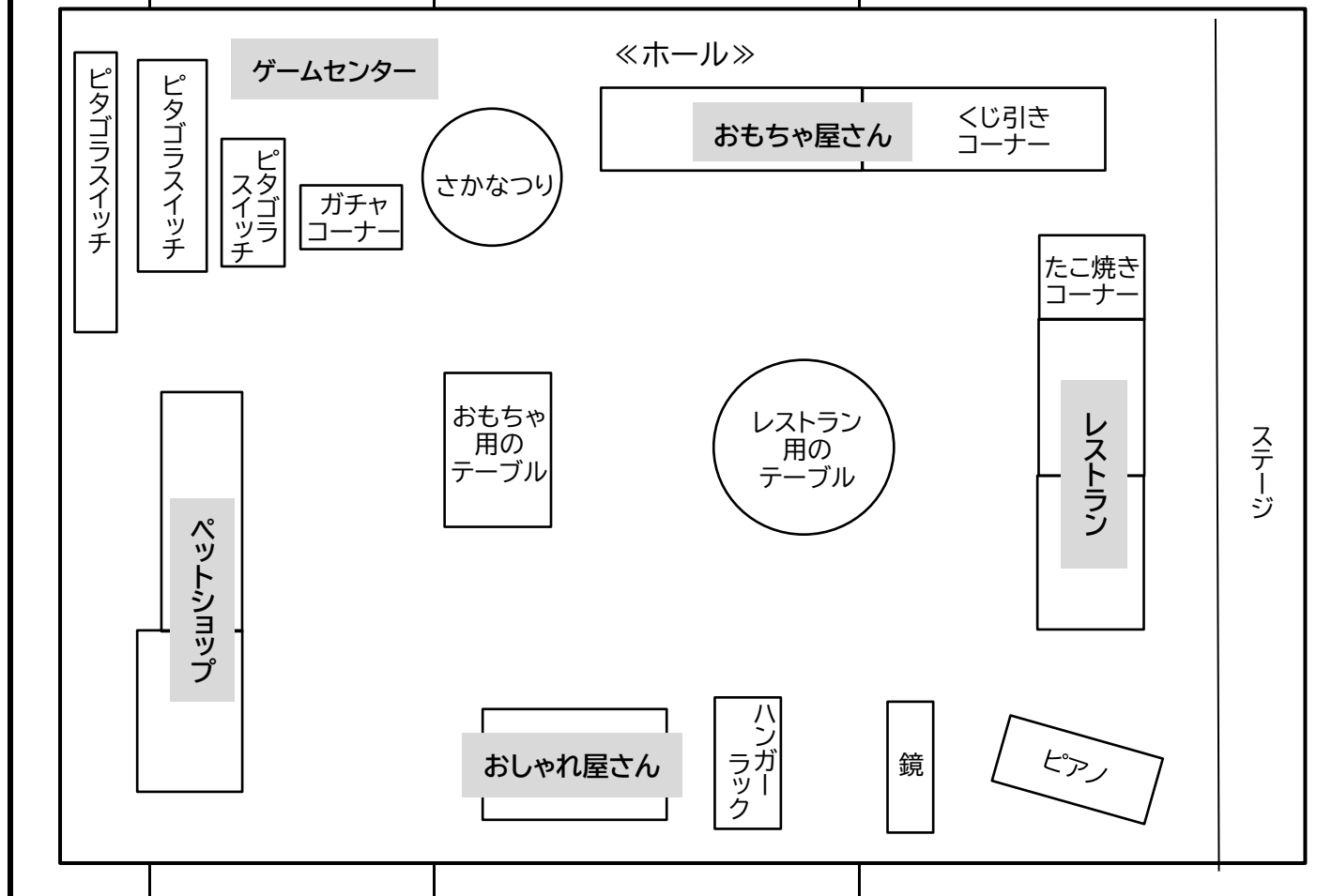
竹田市立南部幼稚園

|              |  |     |               |
|--------------|--|-----|---------------|
| 活動名          | 『秋のお店屋さんごっこ』をしよう！  | 活動日 | 11月6日(金)～     |
|              |  | クラス | れんげ組(5歳児) 21名 |
| 子どもの姿        | <p>○2学期になってから、『幼小合同運動会』や『瀧音楽祭』といった大きな行事を経験し、みんなで力を合わせて取り組むことへの達成感や満足感を味わい、自信をつけてきている。</p> <p>○クラスみんなで『運動会ごっこ』を楽しみ、思いや考えを出し合い、自分たちであそびをすすめていく楽しさを味わっている。</p> <p>○園庭のもみじが毎日少しずつ色づいていることやドングリが落ちていることに気づき、友だちと伝え合ったり図鑑で調べたりして、身近な自然への興味・関心が高まっている。</p> <p>○自然散策で拾ってきたドングリや松ぼっくり、落ち葉などをあそびに取り入れて楽しんでいる。また、ドングリから出てきたどんぐり虫の飼育をしている。</p> <p>○ままごとコーナーのおもちゃを使ってお店屋さんごっこをする姿や、空き箱などを使ってお金やお財布を作って楽しむ姿がみられる。</p>  |     |               |
| ねらい          | ★秋の自然物を遊びに取り入れ、友だちと考えを出し合い、工夫したり協力したりしながら、あそびをすすめていく楽しさを味わう。   |     |               |
| 内容           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●秋の自然物を使って、友だちと一緒にお店屋さんごっこを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●拾ってきた木の实や落ち葉などを使って、友だちと一緒に品物づくりをする。</li> <li>●友だちとアイデアを出し合い、相談したり協力しあったりしながらあそびをすすめる。</li> <li>●お店屋さんやお客さんになって、友だちとのやりとりを楽しむ。</li> </ul> </li> </ul>  |     |               |
| この活動で特に育てたい姿 | <p>◎お店屋さんごっこに必要な物を作るために、いろいろな素材の性質や道具をうまく使い、自分のイメージを実現させていく。また、お店屋さんとお客さんのやり取りを楽しみながら、関わり方に気づく。<br/>(『知識及び技能の基礎』)</p> <p>◎自分なりに試したり工夫したりして表現するとともに、友だちの考えに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを知る。また、活動を振り返り、次への見通しをもったり、あそびをよりよくするためにどうしたらいいかを考えたりする。<br/>(『思考力、判断力、表現力等の基礎』)</p> <p>◎好奇心や探求心をもち主体的に遊ぶとともに、友だちのよさに気づき自分も取り入れて楽しむ。また、友だちと目的を共有し、話し合ったり、時には折り合いをつけて協力したりする。<br/>(『学びに向かう力、人間性等』)</p>   |     |               |
| 環境構成         | <p>□お店屋さんや秋の自然物に関する絵本を読み聞かせたり、絵本コーナーに設置して自由に見たり読んだりすることができるようにする。</p> <p>□子どもたちが遊びやすいように、拾ってきたドングリを茹でたり、落ち葉を新聞紙に挟んで押し葉にしたりするなどの下準備をする。また、子どもたちの発想が豊かになるように、十分な量を用意するとともに、使いやすいように種類ごとに分けて配置する。</p> <p>□ドングリやまつぼっくりなどの自然物や、空き箱などの廃材、セロテープなどの道具を使いたい時に自分たちで出して遊べるように配置するとともに、子どもの要望や状況に応じたタイミングで素材や道具を提示する。</p>  |     |               |
| 保育者の援助       | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもの遊び方を見守り、共感したり一緒に活動したりして、あそびが盛り上がるようにする。</li> <li>◆子どものアイデアや気づきに共感するとともに、友だち同士でアイデアを出し合い、工夫したり、協力したりする姿を褒めて認め、クラス全体へと広げ、あそびが発展していくようにする。</li> <li>◆振り返りの場では、自分の思いを話すだけでなく、友だちの考えを聞いたり、みんなで相談したりすることで子どもたちが共通の目的をもって遊びをすすめられるようにする。</li> <li>◆子どもたちが自分の思いを実現できるよう、作ったり、試したり、試行錯誤する姿を見守り、状況によってはやり方を一緒に考えたり、アイデアを提供したりする。</li> <li>◆遊びのイメージの相違からいざこざが起きた時は、互いの思いを受け止めるとともに相手に伝え、「どうしたらいいか」を一緒に考えるようにする。また、困りがあったことをクラス全体に知らせ、クラスみんなが問題や解決法を意識できるように促す。</li> </ul> |     |               |
| 活動の流れ        | <pre> graph LR     A[お店の内容と分担を決める<br/>(11/6)] --&gt; B[お店で売るものを作る<br/>(11/7~9)]     B --&gt; C[お店に必要なもの(看板など)を作る<br/>(11/10~)]     C --&gt; D[お客さんに必要な物(お金など)を作る<br/>(11/13~)]     D --&gt; E[開店に向けた話し合いをする<br/>(11/15)]     E --&gt; F[お店屋さんやお客さんになって遊ぶ<br/>(11/16~)]   </pre> <p style="text-align: right;">※本時</p>  |     |               |

※11/14…園外保育(「なかよし幼稚園」)

# 11月16日(木) 保育指導案

|        |   |  |   |
|--------|---|--|---|
| 活動名    | お店屋さんやお客さんになってあそぼう！                             |  |   |
| ねらい    | ★友だちと一緒に「お店屋さんごっこ」をする楽しさを味わう。                   |  |   |
| 内容     | ●お店屋さんやお客さんになって、友だちとのやり取りを楽しむ。                  |  |   |
| 時間     | 子どもの活動  | 予想される子どもの姿   | □環境構成 ◆保育者の援助   |
| ～9:30  | ◎登園し、身の回りの整理を済ませたら、お店屋さんごっこの準備をしたり、好きな遊びをしたりする。 | ○友だちや保育者と一緒に机や看板などを設置した後、自由にお店屋さんごっこをして楽しむ。また、お店の品物の修理をしたり、新しく品物やお金を作ったりして楽しむ姿もみられる。 | □ホールに机や仕切り板を出し、子どもたちが商品を並べたり看板を設置したりできるようにする。また、保育室には自然物や空き箱等の素材、必要な道具を配置し、自由に使えるようにしておく。<br><br>◆自分なりにお店屋さんごっこをしたり品物作りをしたりして楽しむ姿に共感し、気持よさを味わえるようにする。 |
| 9:30～  | ◎片付け後、クラス全員で集まって朝の会をする。                         | ○友だちと一緒に読み聞かせや歌をうたって楽しむ。また、お当番さんが朝の挨拶の声かけをする。  | ◆お店屋さんに関する絵本を読んだり、季節の歌をうたったりして、子どもたちの活動につながるようにする。  |
| 10:00～ | ◎昨日のあそびを振り返り、今日のあそびの内容を確認する。                    | ○昨日みんなで話したことや決めたことを口々に話し、お店屋さんごっこへの期待を膨らませる。   | ◆みんなで決めたことを確認することで、友だちと共通のイメージをもってあそびをすすめられるようにする。  |
| 10:10～ | ◎開店準備をする。                                       | ○自分のお店に行き、品物をきれいに並べるなどして、場を整える。  | ◆友だちと協力して場を整える姿を認め、気持よさを味わえるようにする。  |
| 10:15～ | ◎お店屋さんとお客さんになって、やり取りを楽しむ。                       | ○お店屋さんになり、大きな声で呼び込みや接客をする姿が見られる反面、恥ずかしさから、思うように話せない姿もある。                             | ◆積極的に接客をする姿を褒めて認め、周りに広げる。また、思うように話せない子どもの気持ちに寄り添い、一緒に呼び込みや接客をしたりする。   |



|        |  |  |   |
|--------|--|--|---|
|        |  | <p>○『レストラン』では、お客さんが注文した品物をトレーに乗せてテーブルまで持っていく。また、たこ焼きコーナーでは、注文を受けてから作る姿がみられる。</p> <p>○『おもちゃ屋さん』では、おもちゃ売り場担当と、ゲームセンター担当に分かれるが、お店屋さんの人数が少ないので、忙しくなる場面が出てくる。</p> <p>○『おしゃれ屋さん』では、お客さんにおすすめの品物を伝えたり、鏡で姿が見られることを知らせる姿がみられる。</p> <p>○『ペットショップ』では、恥ずかしがりながらも、ペットとお散歩ができることや餌やりができることをお客さんに伝える姿がみられる。</p> <p>○お客さんは好きなお店に行き、買い物を楽しむ。そして、購入した品物を身に付け、友だちや保育者に見てもらうことを喜ぶ姿が見られる。また、『おしゃれ屋さん』の服を着て『レストラン』に行くなど、自分なりに考えて遊ぶ姿がみられる。</p> <p>○自分で行きたいお店を選んで楽しむが、中にはどのお店に行こうか悩んだり、自分からお店屋さんに声をかけられなかったりする姿もみられる。</p> <p>○保育者の声かけを聞き交代するが、中には「まだ代わりたくない」という子どももいる。</p> <p>○お店屋さんとお客さんのやり取りに慣れて来て、自分なりに楽しむ姿がみられる。</p> <p>○楽しかったことや気づいたこと、困ったことなどを自分なりの言葉で話したり、友だちの話を聞いたりする。</p> | <p>◆上手に接客している姿を褒めて認め、まわりに広げていくようにするとともに、思うように接客ができない時は、保育者がアドバイスをしたり一緒にやってみたりする。</p> <p>◆お店屋さんの様子を見守り、接客が忙しくなった時は保育者が手伝い、子どもと一緒にやり取りを楽しむようにする。</p> <p>◆自分たちで考えて話す姿や積極的にお客さんに話しかける姿を褒めて認め、まわりに広げていく。</p> <p>◆自分なりに接客する姿を褒めて認めるとともに、思うように接客ができない時は、どうしたらいいかを一緒に考えたり保育者がお客さんになったりして、やり取りを楽しめるようにする。</p> <p>◆買い物を楽しむ姿や子どもの言葉に共感するとともに、うまくやり取りをする姿などをまわりに伝え、あそびが盛り上がっていくようにする。</p> <p>◆子どもたちの様子を見守り、必要に応じて保育者もお客さんになり、子どもと一緒に楽しむことであそびが盛り上がっていくようにする。</p> <p>◆子どもの気持ちに寄り添い、一緒にお店に行こうと誘ったり、お店屋さんに何と声をかけたらいいかを一緒に考えたりする。</p> <p>◆「代わりたくない」という子どもには、また明日できることを伝えたり、「先生と一緒にやってみよう！」と誘ったりする。</p> <p>◆自分なりに楽しむ姿に共感するとともに、好ましい姿を周りの子どもに伝え、あそびがさらに盛り上がっていくようにする。</p> <p>◆子どもの思いに共感し、クラス全体に広げるとともに、「これからどうしたいか」も話し合い、翌日の活動につなげていくようにする。</p> |
| 10:35～ | ◎交代の時間が来たことを知り、場を整えた後、お店屋さんとお客さんを交代する。 | ○保育者の声かけを聞き交代するが、中には「まだ代わりたくない」という子どももいる。  | ◆「代わりたくない」という子どもには、また明日できることを伝えたり、「先生と一緒にやってみよう！」と誘ったりする。   |
| 10:40～ | ◎お店屋さんとお客さんを交代して、やり取りを楽しむ。             | ○お店屋さんとお客さんのやり取りに慣れて来て、自分なりに楽しむ姿がみられる。   | ◆自分なりに楽しむ姿に共感するとともに、好ましい姿を周りの子どもに伝え、あそびがさらに盛り上がっていくようにする。   |
| 11:00～ | ◎クラスみんなで集まり、今日のアソビを振り返る。               | ○楽しかったことや気づいたこと、困ったことなどを自分なりの言葉で話したり、友だちの話を聞いたりする。   | ◆子どもの思いに共感し、クラス全体に広げるとともに、「これからどうしたいか」も話し合い、翌日の活動につなげていくようにする。  |

